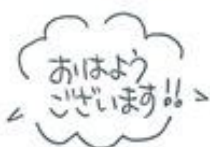




昨年、地元の中学校の朝のあいさつ運動に参加させてもらっています。校門から入った、校舎の前ののぼりを立てて行いますが、そののぼりには、「あいさつは朝のシンボルだ!」とあります。実は、このあいさつ運動には、リフレットの御客様も、沢山参加していただいております。あいさつ運動は、校長先生や他の先生方と一緒に、登校してくる生徒一人一人に向けて朝のあいさつをさせていただけます。「おはようございます」朝のあいさつは、人間の本能で、数時間寝て覚めた頭や体にスイッチを入れる役目になっているものなのかもしれません。先日、前日の夜が少し遅かった事も有り、少し体も重く、元気の足りない朝が有りました。(反省...)しかし、あいさつを繰り返していると、不思議と自然に元気が出てくる気がおきてきます。



あいさつは別に大きな声でする必要はないと思いますが、「元気のあいさつ」である必要は有ると思います。元気に朝のあいさつと交わす事により、今日一日、元気なスタートがされ、思った以上のエネルギーを心と体に与えてくれるのです。自然にエネルギーを生み出してくれる朝のあいさつは、「こういう目的もあるのだな」と考えなくても、人間の本能として行っているとなると、人間の体は、本当によくできたものだと思えて関心は尽きません。朝のあいさつは、家庭でも職場でも、地域でもしっかり元気に行っていたいものです。

平成二十一年六月吉日

多田 良雄